

ハートがたくさんの村づくり

Vol.229

差別のない、人への思いやりを大切にする、明るい南阿蘇村をつくりましょう。

絵本から学ぶ人権

人権とは、すべての人が生まれながらに持つ、誰にとっても大切な「人間らしく生きる権利」です。これは、日常の思いやりや互いの尊重の中で守られなければなりません。

「人権」と聞くと、堅苦しく感じたり、難しい問題だと思いかもしれませんが、実は私たちの身近に存在し、誰もが自然に理解し、感じ取ることのできる大切なものなのです。

今回は、人権についての学びが深まる絵本をご紹介します。子どもはもちろん、大人にとっても読みごたえのある絵本です。

「レッド あかくてあおいクレヨンのはなし」

出版社：子どもの未来社 著者：マイケル・ホール

赤なのに赤が描けないレッドでしたが、ある日自分が本当は青だったことに気づきます。

多様性を知ることができる絵本です。

「いいこってどんなこ？」

出版社：富山房 著者：ジーン・モデシット

子ウサギのパニーは、いろいろなことが心配になって、お母さんに「いい子って、どんな子？」と尋ねます。子どもたちにありのままの姿で愛されるすばらしさを伝えている絵本です。

「いのちをいただく」

出版社：講談社 著者：内田美智子

いつも食べているお肉も大切な命。実際に命を「解く」仕事をする人のお話です。

「かっくん どうして ボクだけ しかくいの？」

出版社：講談社 著者：クリスチャン・メルベユ

みんなまんまるのまんまる家族に、ある日まんまるでない赤ちゃんが生まれました。

違いや個性について考える作品です。

「へいわとせんそう」

出版社：ブロンズ新社 著者：谷川俊太郎

「へいわのボク」と「せんそうのボク」では、何が変わるのだろうか…平和と戦争について考える絵本です。

「みえるとかみえないとか」

出版社：アリス館 光文社 著者：ヨシタケシンスケ

「目の見えない人は世界をどう見ているのか」をきっかけにつくられた絵本です。

今回、ご紹介した絵本以外にもたくさんの人権に関する絵本があります。絵本を通して、多くの学びを得ることができると思いますので、ぜひ手にとってみてください。(今回紹介した絵本は図書室にあります。)

村民みんなで「ハートがたくさんの村」をつくりましょう。 総務課 人権政策係 Tel.0967 (67) 1111

子育て支援センター わくわくひろば

Tel.0967 (65) 8580

「わくわくひろば」は、乳幼児から就学前のお子さんと保護者が一緒に遊べる、親子の交流や育児の情報交換の場です。毎月楽しい行事などを行っております。どなたでも無料で利用できますので、子育てに不安を感じたとき、一緒に子育てをする友だちが欲しいときなどお気軽にお越しください。

■開設日時 毎週火～土曜日(祝日は閉所)

午前10時～午後3時

■場所 LOOPみなみあそ2階

5月行事予定

参加の際には、必ず事前予約を!!

1日(木) 端午の節句(要予約)

オリジナルのこいのぼりを作って、こどもの日をお祝いしましょう!

22日(木) 春のお出かけ(要予約)

みんなで春を見つけに、お出かけしましょう。



2月・3月生まれのお誕生会をしました。2人共、1歳迎えてママたちに、子育てなどのお話をしてもらいました。



たくさんの人に参加して頂いて、賑やかなお誕生会でした。

〈お知らせ〉

※都合により、開所日時の変更や、行事予定の変更、中止の可能性があります。村ホームページ、またはわくわくひろば Tel.0967 (65) 8580にてご確認ください。